



### 新年を迎えて

明けましておめでとうございます。開設以来6年目の正月を無事に迎えることができました。去年は、在宅（含む介護施設）での看取りが212人、病院での看取り51名、合計263名の患者さんと関わることができました。ひとえにご紹介を頂きました皆様のおかげと感謝いたします。

今年の課題は、人材育成に向けた研修会を本格的に活動することです。多死時代に向けて、終末期の人と関わる人材を育成していくことが、これからの社会に求められる大きな課題であると確信をしています。そのために、めぐみ在宅クリニックとしてできることは何か？と問い続けていきたいと思えます。

すでに、全国各地域で緩和ケア均てんにむけた様々なプログラムが用意されております。また、すでに在宅緩和ケアを実践している施設も多くなってきました。数ある活動の中で、他にはなく、めぐみ在宅クリニックとして、ユニークな視点を持ち続けたい思いがあります。そのこだわりの視点が、“どんな私たちであれば、良い援助者になれるのか？”です。ここで求められるのは、私たちが良いと思うことを行うだけでは良い援助者にはなれないということです。単に知識だけを持つだけでも良い援助者になれるかとは限りません。永年、緩和ケアを学んできたものとしてのこだわりは、“どれほど医学や科学が発達しても、すべての苦しみを取り去ることはできない、しかし、人は、その人にとって真の支えが与えられたとき、苦しみの中でも、生きようとする力が与えられていく可能性がある”ということです。支えられ方は、一人ひとり異なるかもしれません。その支えを強めることができれば、職種にかかわらず、良い援助者になれる可能性が拓けます。

この春から、いくつかの研修会を企画いたします。参加希望の方がおりましたら、どうぞお声かけ下さい。今年が、皆様にとって良い年になりますことをお祈りいたします。

院長 小澤竹俊

### 医療ソーシャルワーカー佐藤さん赴任しました

2012年1月より医療ソーシャルワーカーの佐藤さんが赴任しました。在宅と病院を合わせれば年間260人以上の看取りを受け持つクリニックでありながら、今までは相談の入り口を担当する人が交代で行っておりました。これからは、地域緩和ケアの相談窓口として重責を担って頂く予定です。

### “ありがとう”の歌が作られました

家に帰りたいと希望され、2011年12月に家に帰ることができた患者さんが、念願であった歌を作ることができました。弥勒(みるく)というグループ名で、全国でコンサート活動をされてきたご夫婦です。とても暖かく、そして不思議な雰囲気を持つご本人が、闘病を通して伝えたかったメッセージは、“ありがとう”です。奥様の誕生日である12月26日にYoutubeにアップロードされました。クリニックからも、バックコーラスとして院長はじめ総勢7名が参加することができました。とても素敵な歌です。是非、“弥勒(みるく)”、“ありがとう”、で検索するとすぐに見つかります。Youtubeで視聴されてください。



### 暮らしと健康での連載が始まります

保健同人社が刊行している健康雑誌「暮らしと健康」4月号より、生と死に関するコラムを担当する事になりました。12回の予定で、緩和ケアを専門に学んできたことをお伝えする予定です。ご期待下さい。

### 診療報告

#### 過去5年の診療実績

	2007	2008	2009	2010	2011	計
訪問回数(回)	1647	2900	2872	3515	4907	15841
在宅永眠(名)	73	128	151	190	203	745
施設永眠(名)	7	7	8	14	9	45
病院永眠(名)	22	24	40	34	51	171